

# 令和元年教育委員会第10回定例会会議録

開会日時 令和元年10月15日 午前 10時00分

閉会日時 同 上 午前 10時54分

場 所 教育委員会室

出席委員 教育長 小花高子

同職務代理者 望月京子

委 員 日高芳一

委 員 齋藤初夫

委 員 塚本 亨

委 員 大里豊子

## 議場出席委員

- |             |       |             |       |
|-------------|-------|-------------|-------|
| ・教育次長       | 安井喜一郎 | ・学校教育担当部長   | 杉立 敏也 |
| ・教育総務課長     | 鈴木 雄祐 | ・学校施設課長     | 秋元 高志 |
| ・学校施設整備担当課長 | 杉谷 洋一 | ・学 務 課 長    | 神長 康夫 |
| ・指 導 室 長    | 加藤 憲司 | ・学校教育支援担当課長 | 山岸 健司 |
| ・統括指導主事     | 木村 文彦 | ・統括指導主事     | 大川 千章 |
| ・地域教育課長     | 山崎 淳  | ・放課後支援課長    | 生井沢良範 |
| ・生涯学習課長     | 加納 清幸 | ・生涯スポーツ課長   | 南部 剛  |
| ・中央図書館長     | 尾形 保男 |             |       |

## 書 記

- ・教育企画係長 富澤 章文

開会宣言 教育長 小花高子 午前 10時00分 開会を宣する。

署名委員 教育長 小花高子 委員 望月京子 委員 日高芳一  
以上の委員3名を指定する。

議事日程 別紙のとおり

開会時刻 10時00分

○**教育長** おはようございます。それでは、出席委員は定足数に達しておりますので、令和元年教育委員会第10回の定例会を開会いたします。

初めに、新教育長として第3回区議会定例会におきまして任命同意をいただき、10月5日付で就任をいたしました小花でございます。よろしくお願いいたします。これからも皆様と力を合わせながら葛飾区の教育行政を進めてまいりたいと考えておりますので、よろしくお願いいたします。

また、教育長職務代理者として10月9日付で望月委員を指名いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。

○**望月委員** よろしくお願ひいたします。

○**教育長** 次に、本日の会議録の署名は私に加え、望月委員と日高委員をお願いいたします。

それでは、議事に入ります。本日は、議案等が1件、報告事項等が5件でございます。

それでは、議案第42号「葛飾区体育施設条例施行規則の一部を改正する規則」を上程いたします

生涯スポーツ課長。

○**生涯スポーツ課長** それでは、議案第42号「葛飾区体育施設条例施行規則の一部を改正する規則」につきまして、ご説明いたします。

提案理由でございます。葛飾区体育施設条例の改正に伴いまして、休場日に係る葛飾区鎌倉公園プールの名称を削除する必要があるため、提案するものでございます。

1枚おめくりいただきますと新旧対照表がございます。下線を引いてございます箇所、規則第4条第1項第2号に記載がございます「及び葛飾区鎌倉公園プール」の部分を削除するものでございます。

規則の施行日は10月15日からとするものでございます。

説明は以上です。よろしくお願い申し上げます。

○**教育長** ただいまの説明につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。その他、ご質問等ございますでしょうか。

よろしいですか。それでは、お諮りいたします。議案第42号について原案のとおり可決することに異議ございませんか。

(「異議なし」の声あり)

○**教育長** 異議なしと認め、議案第42号につきましては原案のとおり可決といたします。

以上で議案等を終わります。

続きまして、報告事項等に入ります。報告事項1「令和元年度小学校水泳記録会の実施結果について」の報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 それでは、「令和元年度小学校水泳記録会の実施結果について」ご報告をさせていただきます。

まず目的でございますけれども、ブロック別に集まった学校による水泳記録会を通して、5年間の水泳学習の成果を発表し合い、水泳技能の向上を図るとともに、近隣の児童との親睦を深め、健全な心身の育成に資することとしております。

実施日につきましては、令和元年9月5日（木）に実施をいたしました。

実施場所といたしましては、区立小学校 15 校で行いました。参加学年は第5学年でございます。

5 番に記録を掲載しております。特に男子の 25 メートル自由形の 1 位、よつぎ小学校の石川一陽君ですが、15 秒 1、今回、大会新記録ということで記録が出ましたのでご報告をさせていただきます。

裏面でございますが、6 番の「歴代記録」ということで掲載をさせていただいているところでございます。これにつきましては、平成 25 年度より 5 年生で全校実施になった関係で、平成 25 年度からの記録ということで歴代記録として掲載しているところでございます。

説明は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 感想だけですけども、まだまだ非常に暑い日だったので、みんな子どもたちは、途中で 25 メートルまで届かないながらも一生懸命やり遂げたということが自己の宝となりますので、これも現場の先生方の指導の賜かなと思いますので、ぜひ以降も続けていただきたいという感想を持ちました。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。

その他、ご質問等ございますでしょうか。

日高委員。

○日高委員 今、塚本委員さんもお話しになりましたけれども、どの学校も一生懸命やっている、これは大変うれしいことだと思います。ただ、5 年生の子どもに 25 メートルをぜひ泳がせきりたいと、こういう思いはみんな一緒だと思うのです。もう 1 年、6 年生がありますから、卒業するまでには 25 メートル泳げる。こういう状態にぜひ頑張らせていただくと、子どもも目標になるし、学校としても安心して送り出すことができるのではないかと思いますので、そのあたりをぜひ頑張っていたいただきたいなと思います。

あわせて、これは校長会でも話をさせていただいて、きょう、たまたま役員会がありますか

ら、そういう腹づもりでやっていただくと子どもはもっと伸びるのではないかと思います。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでしょうか。よろしいですか。

それでは、報告事項1を終わります。

次に、報告事項2「令和元年度イングリッシュキャンプの実施結果について」の報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 「令和元年度イングリッシュキャンプの実施結果について」ご説明をさせていただきます。

まず、今年度から1点、変更がございます。昨年度までは1泊2日の行程であったものを2泊3日という形に変更をいたしました。

目的でございますが、英会話を実践する機会をつくり、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、21世紀型能力の育成を図ることを目的としております。

対象でございますけれども、区立中学校1・2年生48名、今年度につきましては1年生、2年生24名ずつでございます。次に参加希望者でございますけれども、113名が希望し、応募倍率は2.35倍という形になりました。

3番、場所でございますが、これにつきましても今年度から初めて実施した場所でございます。ブリティッシュヒルズでございます。

4番、実施期間でございますが、令和元年7月24日から26日までの2泊3日。引率者につきましては、区立中学校教員等6名でございます。

6番の主な実施内容でございますけれども、プレキャンプを2回実施し、メインキャンプとして7月24日から2泊3日で実施したところでございます。

実施後の報告でございますけれども、各学校において報告会等を実施し、その成果の普及に努めてまいりたいと考えております。

成果と課題でございます。成果につきましては、生徒のアンケート結果からでございますけれども、「伝えたいことをすぐに英語で表現できるようになった」。また、これは1年生だと思っておりますけれども、「来年は海外派遣にチャレンジする」というような肯定的な意見が多くあったところでございます。

保護者のアンケート結果を見ますと、「自発的に英語で話すようになってきた」「キャンプを通して『世界は広い』と視野が広がった」このような肯定的な意見もありました。中には、英語検定の勉強を自発的に始めた、そういった意見もございました。大きな成果であると捉えております。

課題でございます。先ほどもお話をさせていただいたとおり、昨年度までは2倍を超えない

倍率だったのが、今年度から2倍を超える倍率になってきております。参加希望人数の増加に伴い、参加人数または選考方法等について検討してまいりたいと考えております。

報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

望月委員。

○望月委員 このイングリッシュキャンプはすばらしい事業だなと思っております。この中で、成果を見ますと、「伝えたいことをすぐに英語で表現できるようになった」とか「来年は海外派遣にチャレンジする」「イングリッシュキャンプが大変貴重な場である」と多数の意見が寄せられたとあります。そして、世界は広い。本当にこういう貴重な体験をすることで子どもはどんどん成長していくのかなと思っていますので、最後に課題として出ている人数増加に伴う選考方法ですね。これを少しでも人数を増やしていただけるように努力していただければと思っていますのと、この選考の方法の中で、どういうところに重点を置いて選出しているのかというのをお聞かせいただきたい。

もう一つ。中学に入ると今度、海外派遣がありますよね。そのときに、小学校でここに参加できた子どもさん、そして中学校でまた海外派遣に選ばれると、二度の機会があるのですけれども、その選考方法によって2回行けるのか、それとも違う子どもさんを選んで多くの方に経験をさせるのかというのは、ちょっとここの部分は検討していただければなと思っています。

○教育長 指導室長。

○指導室長 まず、生徒の選び方の部分でございますけれども、2番に書いてあるとおりなのですが、まず生徒が申込書を作成いたします。そして学校長からの推薦という形を受けて、教育委員会事務局、指導室の中で審査を行っております。そこにつきましては、さまざまな項目があるのですけれども、数値化をして、その推薦状況等を総合的に勘案して決定しているところでございます。

海外派遣との絡みでございますけれども、今、海外派遣、例えばイングリッシュキャンプに行ったお子さんは参加できないという形にはしていないところでございます。後ほど、海外派遣のところでもご説明はしますが、海外派遣につきましては面接という形もとっておりますので、そのあたりにつきましては、公平性を担保しながら選考について実施しているところでございます。

○教育長 よろしいですか。

ほかにご質問等ございますでしょうか。

塚本委員。

○塚本委員 関連して。今、指導室長からお答えいただいたのですが、そういった公平性の担保というのは区民の方の関心事であろうと思います。特にイングリッシュキャンプにしてもそ

うですし、海外派遣にしましても、これは具体的な数字はいいのですが、派遣される保護者の方の経済的な負担等もある程度分かれば、分子と分母のつながりと、何か風通しがよくなるものがあって、倍にとはお願いしたくないのですけれども、裾野は広いほうがいいかなと思いましたが、関連して質問しました。

○教育長 指導室長。

○指導室長 イングリッシュキャンプの負担でございますけれども、実質は食費等の個人に係る費用をお願いしているところでございます、施設利用・バス代等につきましては教育委員会で用意をさせていただいている状況でございます。

○教育長 よろしいですか。

齋藤委員。

○齋藤委員 私は、希望が増えてきているということで、子どもたちも保護者も意識が高まってきたのだと感じているのですけれども、参加人数を増やすことができれば、ぜひ増やしていく方向の検討があつていいのかなと思います。それと、もしそれが無理であれば、先ほど質問がありました審査の中身で、項目があつて点数をつけると言っていましたけれども、どのような項目があつて、こういう視点で選んでいるのだということが透明性をもって皆さんにわかるようになっていけば、日頃から頑張つて勉強しようとか、話せる能力が必要だから話せるようにしようとか、目標がはっきりするので、細かく言うことではないのですけれども、どういふことで選ばれていくのかという目安みたいなものは分からないのかなと。先ほどの質問もそうだったと思うのですけれども、手順のことではなくて、そういうことが分かればなということです。もし予算が難しく増やせないということであっても、その辺がはっきりしていれば、選考方法が分かって、今度はその中に自分が入るために頑張ろうという意欲づけにもなるわけです。そういう意味では、ある程度こういうことで選んでいるのだということが分かるように説明してもらえないかと思います。

○教育長 指導室長。

○指導室長 まずは選考の方法でございますけれども、現在はこういった項目でというのは事前には出していない状況でございます。ただ、今、委員、おっしゃるとおり、それがあらかじめある程度明確に示されているということは、それに向けて頑張るといふような意味合いもあると思いますので、ぜひ検討させていただきたいと考えております。

そして、人数を増やしていくというところですが、事務局としても人数を増やせないかというところで、例えば回数を増やすのか、1回に行く人数はどのくらいまで行けるのか、そういったところを現在シミュレーション等もしているところで、ぜひ増やしていきたいなという形での検討は進めております。

以上でございます。

○教育長 齋藤委員、よろしいでしょうか。

○齋藤委員 はい。

○教育長 ほかに、ご質問はございませんか。

大里委員。

○大里委員 今、指導室長におっしゃっていただいたところが私も気になっていたところです。一度に行ける人数、受入先の状況等もあると思います。ただ、この人数を見たときに、単純に学校数で割ると各校1、2年生1人ずつという数字になるのですね。もう少し増やせないかなとは思いますが、ぜひお願いしたいと思います。

○教育長 ご要望ということでよろしいでしょうか。

○大里委員 はい。

○教育長 日高委員。

○日高委員 海外派遣はいろいろな区でやっていると思うのですが、このイングリッシュキャンプの実態はどのようなのでしょうか。よその区もやはり行っているのですか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 近隣ですと荒川区が実施しております。ただ、中学1年生、2年生ということで、今回、ブリティッシュヒルズという施設を使うということに関しましては、私も事前の現地踏査と一緒にさせていただいたのですが、私立の学校が非常に使っているのが多いということで、本区のようにいわゆる行政の区立の中学校等でというのはなかなかない状況でございます。私も現地に行って思ったのですが、環境等がすごく整っていて、「日本で行ける海外留学」というようなキャッチフレーズもあるのですが、本当に英語漬けという感覚からすると、非常にいい場所であるなという感触をもっているところでございます。

○日高委員 ありがとうございます。

○教育長 そのほか、何かございますでしょうか。この件につきましてはよろしいですか。

それでは、報告事項2を終わります。

次に、報告事項3「令和元年度中学生海外派遣事業の実施結果について」の報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 「令和元年度中学生海外派遣事業の実施結果について」ご説明をさせていただきます。

目的でございますけれども、これからのグローバル社会をたくましく生きることのできる人材育成を目指す「かつしかグローバル人材育成事業」の一環として、海外に生徒を派遣することにより、英語によるコミュニケーション能力の育成を図るとともに、21世紀型能力の育成を図るものでございます。また成果につきましては、各中学校の中学生に還元するものとしてお

ります。

2番、対象でございます。区立中学校2年生、48名でございます。本事業に参加希望の生徒が作成した申込書及び学校からの推薦を受け、教育委員会事務局において面接・審査を行い決定いたしました。今年度につきましては、参加希望者208名、応募倍率につきましては4.34倍でございました。

3番、派遣先でございます。オーストラリアのクイーンズランド州。

4番、派遣校でございますけれども、学校に通うということもございまして、Caloundra City Private SchoolとMueller Collegeという2校に派遣をさせていただいております。

5番、派遣期間でございますけれども、令和元年8月17日（土）から24日（土）までの6泊8日。

6番、引率者でございますけれども、区立中学校教員等6名でございます。

7番、主な実施内容でございますけれども、これにつきましては非常に丁寧に行っているところございまして、まず（1）番、事前学習会及び出発式ということで、こちらに記載のとおり7回、事前学習を行っております。私も何度か様子を見させていただいたのですが、他校の派遣する生徒に対しましても7回の事前学習のところで非常に打ち解けている状況で派遣に行けるといような充実したプログラムでございます。

裏面に参ります。海外派遣の実際のところでございます。実際のところはホームステイ、そして先ほどご紹介をした学校におけるバディクラスでの授業参加、イングリッシュ・レッスン、そしてオーストラリアの動物園の見学、そして在ブリスベン日本国総領事館訪問と現地で活躍する日本人の方からの講演会ということで実施をしました。

（3）番、事後学習会及び解散式でございますけれども、9月7日（土）の午後2時から総合教育センターにおいて実施したところでございます。

8番、帰国後の報告でございますけれども、派遣生徒は各学校において報告会等を実施するとともに、代表者につきましては、これからある中学校英語スピーチ&プレイコンテストに参加し、発表するという形をとっております。そして、報告書等もまとめていきたいと考えております。

9番、成果と課題でございます。まず一つ目でございますけれども、アンケートを四つの項目について取っております。「コミュニケーションへの積極性が高まったと感じますか」「英語を学ぶことへの意欲・関心が高まったと感じますか」「自ら行動したり、物事に取り組んだりする意欲が高まったと感じますか」「将来、国際社会で活躍していきたいと思いませんか」の四つの質問項目で、今回で海外派遣4回目になるのですが、初めて全ての項目で肯定的評価が100%という形になりました。



次に生徒のアンケート結果からなのですけれども、今、質問にもあったとおり、英語だけではなくて、こちらがねらいにしている海外の方とのコミュニケーションとか積極性、そういったものが大きく変わったというような回答をした生徒が多い状況でございました。

2番、課題でございます。まず事前学習会の日程についてなのですけれども、どうしても7回の事前学習会ということがございますので、24校にまたがっていることもあり、部活動の大会、コンクール、様々なところと調整をしているところでございます。来年度につきましてもなるべく調整できるように頑張っていきたいと思っております。

そして、イングリッシュキャンプと同様なのですけれども、派遣希望人数の増加に伴いまして、派遣人数、また選考方法等について検討してまいりたいと考えております。

説明は以上でございます。

○教育長 それでは、ただいまの報告について、ご質問等ございますでしょうか。

大里委員。

○大里委員 私、昨年度と今年度と2回、出発式に出させていただきました。生徒たちは非常に元気で生き生きとしていまして大変うれしく思いました。

今回も一段と参加希望者が多かったのではないかと思います。ただ、先ほどのイングリッシュキャンプと違いまして海外ですので、人数を増やすことに関しては安全面が多少心配になりますので、そのあたりは慎重に検討していただきたいと思えます。

今回、実施後のアンケートで肯定的回答が100%であったということは非常によかったと思えます。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。

日高委員。

○日高委員 成果と課題を見てもみますと、多くの成果が出てよかったな、年々充実してきているのかなと思います。特にコミュニケーション能力とあわせて積極性が子どもたちについていると。これは、目的そのものだと思うのですよね。そういう中で、ホームステイというのがすごく影響しているのではないかなと思うのです。これは現実には何泊ぐらいの日程でしたか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 5泊程度でございます。

○日高委員 ありがとうございます。

○教育長 塚本委員。

○塚本委員 関連でよろしいですか。今までの私の認識で伺いそびれていたのかもしれませんが、ステイされた子どもたちが学校で報告会のようなことはやっていたのでしょうか。同心円的に各学校で、生徒さんの前で「行ってきましたよ」と、そういう事例があったかどうかちよ

っと伺いたいのですが。

○教育長 指導室長。

○指導室長 これにつきましては、昨年度等も調べてみますと多くの学校で文化祭等で報告する事例が多いとのこと。実際、今年度派遣された子どもたちも1年生のときに先輩が行った海外派遣の報告を聞いて非常に関心を持ったという声もあります。そういったところが非常に大事なところかと思っているところでございます。

○教育長 塚本委員。

○塚本委員 ありがとうございます。まさにそのとおりだと思って質問させていただいたのです。そう思いますと、最終的に最後の「派遣人数及び選考方法」というところに尽きますので、分子と分母が広がることは非常にいいのですけれども、子どもたちの向学心を止めないように、せっかく行ってみたいという気持ちを最大限かなえるような努力をこれからもお願いしたいなと思います。

要望でございます。

○教育長 ありがとうございます。

望月委員。

○望月委員 先ほどのイングリッシュキャンプのところでも出たのですが、海外派遣だと費用はかなり高くなると思うのですが、費用の分担というのはどのようになっているのか教えてください。

○教育長 指導室長。

○指導室長 今年度という形で考えますと、海外派遣につきましては、生徒1人当たり約40万円、経費がかかってございます。イングリッシュキャンプにつきましては、今年度、おおよそではございますけれども、経費を人数で割ると約7万円になっておりますので、海外派遣につきましては、イングリッシュキャンプの大体5.7倍ぐらいかかっているという状況でございます。

○望月委員 そうしますと、保護者の負担というか、それはこの40万円かかる中のどのぐらいの割合ですか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 今ご説明したのは公費の部分でございまして、いわゆる私費としては、例えばパスポートを取っていただく費用であるとか、あと食事代等の実費というものをいただいていたりと、あとお小遣い。お土産を買うとか、そういったものはいただいている状況でございます。

○教育長 よろしいですか。

○望月委員 ありがとうございます。

○教育長 ほかにご質問等ございますでしょうか。

齋藤委員。

○齋藤委員 特に質問ということではないのですけれども、夏に行くのですけれども、向こうは時期が冬ですよ。それで体調を壊したりというのは、今年も含めて、これまではなかったのですか。

○教育長 指導室長。

○指導室長 大きく体調を崩したというところはないのですけれども、実際に指導主事も一緒に帯同しております。今回も校長も一緒に行っております。話を聞きますと、日本の冬みたいに寒いというのではなく、涼しい形だったのかなと思いますので、過ごしやすい気候であると聞いているところでございます。

○教育長 ほかにございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは報告事項3を終わりといたします。

次に、報告事項4「令和元年度中学校総合体育大会の実施結果について」の報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 「令和元年度中学校総合体育大会の実施結果について」説明をさせていただきます。

まず日程につきましては、令和元年5月26日（日）から7月7日（日）まででございます。場所につきましては、葛飾区総合スポーツセンターまたは区内中学校。「他」というのは、共栄学園とか私立の中学校等もあるというところでございます。

3番、主催でございますけれども、葛飾区教育委員会、葛飾区中学校体育連盟でございます。

4番、実施競技種目の結果でございますけれども、バレーボールから、裏面に参りますけれどもハンドボールまで全12種目について実施結果を載せさせていただきました。

実施結果についての報告は以上でございます。

○教育長 ありがとうございます。

ただいまの報告についてのご質問等ございますでしょうか。

いかがでしょうか。よろしいですか。

それでは報告事項4は終了といたします。

続きまして報告事項5「令和元年度夏季休業中の児童・生徒の活動状況について」の報告をお願いします。

指導室長。

○指導室長 「令和元年度夏季休業中の児童・生徒の活動状況について」ご報告をさせていただきます。

目的でございますけれども、夏季休業中に行われる大会及びコンクール等において活躍した

児童・生徒の活動状況を把握し、積極的に表彰することで、児童・生徒の自尊感情、自己肯定感の醸成を図ることを目的としております。

対象の期間でございますけれども、令和元年7月21日（月）から9月1日（日）まででございます。

なお、昨年度、期間等について全ての期間を対象にすべきではないかといったご議論も出ていて、実際に検討もさせていただいたところでございます。実際のところは、今回、報告する部分は、いわゆる関東大会、全国大会につながるような大会が多く含まれているというところ、あとは同時期に東京都が児童・生徒表彰という形の表彰制度を設けておりまして、そういったところでも、この期間外に起こったような、例えば優秀な成績等についてはそちらのほうで表彰するような制度もあるということで、今年度につきましても同様な期間を対象とさせていただいたところでございます。

活動状況としては、別紙の「夏季休業中の児童・生徒の活動状況」をご覧くださいいただけます。横版になっております。

まず目次に、小学校体育（個人）、そして団体、中学校の体育（個人）、団体、小学校の音楽・文化、中学校の音楽・文化、小学校のボランティア活動、中学校のボランティア活動という形で作成をさせていただいております。

その中で、幾つか顕著な成績をおさめたものについてご紹介をさせていただければと思っております。まず6ページをお開きいただければと思います。下から4番目でございますけれども、葛美中学校の和田桃子さん。陸上（共通女子走高跳）、全日本中学校陸上競技選手権大会で全国第2位という快挙、いい成績をおさめました。和田さんにつきましては、先日、区長の表敬訪問等も行われたところでございます。

そして、19ページでございます。中学校の体育の団体でございますけれども、上から5番目、関東大会でございますが、立石中学校が第43回関東中学校水泳競技大会で第1位の成績をおさめました。

そして、23ページでございますが、小学校の音楽・文化というところでございます。柴又小学校の前田さんですけれども、小学校の部で金賞の1位ということで、この子につきましては、東京都の児童・生徒表彰にもエントリーをしているお子さんでございます。

私からの報告は以上でございます。

○教育長 ただいまの報告につきまして、ご質問等ございますでしょうか。

望月委員。

○望月委員 これを見させていただいて、堀切の子ども、生徒さんたちが頑張っているのだと本当に感心いたしました。さらに頑張っていただければいいのかなど思っています。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。分量が多いので、少しじっくりごらんいただければと思います。

塚本委員。

○塚本委員 体育の部分にしても、また音楽・文化の部分でも、児童・生徒さんたちが頑張っているということは、すごくいいことだと思うのですが、ちょっと気になりましたのが、3ページの孫君ですか、トライアスロンキッズという部分で、水元小学校のご兄弟と思われるのですが、1年～3年、4年～6年の各学年単位で非常に素晴らしいですね。

トライアスロンは、ご案内のようにある程度複合した競技ですから、誰もができるわけではないのですが、こういった隠れた部分の、学校の先生方のご指導のたまものであろうと思います。文化面でも最後に出ました柴又小学校ですか、すごく学校の雰囲気や垣間見えるような活動にお触れいただきましたので、感想だけを述べさせていただきました。

以上です。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにはいかがでございましょうか。

望月委員。

○望月委員 もう一つ感想です。最後のほうにボランティア活動をしている学校がかなり出ているのですけれども、ボランティア活動は生徒のこれからのことにすごく役立つことだと思うので、たくさん学校及び個人がやってくればいいなと思っています。

○教育長 ありがとうございます。

ほかにございますでしょうか。よろしゅうございますか。

それでは、報告事項5を終わりといたします。

以上で、本日の議事は全て終了となりますが、その他、何か、ご意見・ご質問等はございませうでしょうか。

大里委員。

○大里委員 台風19号についてなのですが、幼稚園、学校等でもし被害がありましたらば教えてください。

学校施設課長。

○学校施設課長 ちょうど今日から学校・幼稚園が開始というところで、今、続々と被害状況の報告が上がってきているところがございます。今、9時半時点で18校から報告が上がってきていて、その中では、倒木であるとか、木が折れたりだとかという被害があったと。あとは、一部駐輪場の軽い屋根が破損して飛んでしまったりですとか、ある中学校では屋根のちょうど破風部分が風によって飛散してしまったなど。いずれにしても対応済みのものも含まれております。土曜日の夜から日曜日の明け方にかけてということでしたので、それから現在まで

時間がたっておりますけれども、あわせて用務の方々にもご協力いただいて学校に来ていただいてというところもありますので、対応済みのところもあるのですけれども、雨漏りですとか、そういったところについては随時これから修繕等も含めて対応していきたいと思っております。

以上です。

○教育長 大里委員。

○大里委員 ありがとうございます。保田しおさい学校と日光林間学園も気になるのですが、どうなっているのでしょうか。

○教育長 学校施設課長。

○学校施設課長 まず保田しおさい学校につきましては、日曜日の朝の時点で確認ができておりまして、ライフライン、水道、ガスそれから電気等についての被害はなかったというところ です。新しい被害としては、風が強かったということで、台風 15 号のときに周辺に飛散していたガラスが風にあおられてまた校庭部分に入ってきてしまったという報告が上がってきております。その他については、建物の中を今、学校で隅々まで見ているという状況です。もしかしたら雨漏りとか吹き込みで水がしみてしまったという部分があるのかもしれないのですけれども、それについても引き続き対応させていただきたいと思えます。

日光林間学園につきましては、雨が大変降っているということです。倒木が 1 本ありまして、それについては既に伐採をしており、細かく刻んで対応済みということです。日光林間学園についても、ガスそれから水道、電気については特段影響がなかったという報告が上がってきております。宿泊者もいらっしゃったのですけれども、特に、何事もなくということはないのでしようけれども、通常どおり生活をしていただいたというところ です。

以上です。

○教育長 よろしいでしょうか。

大里委員。

○大里委員 保田しおさい学校の子どもたちはどのように対応されたのでしょうか。

○教育長 学校支援担当課長。

○学校支援担当課長 保田しおさい学校の子どもたちにつきましては、台風の接近に伴いまして、金曜日にこちらに帰京しておりまして、本来、総合教育センターで運動会をやる予定だったのですけれども、そちらを中止いたしまして、本日 9 時半に区役所に集合して、帰校しているところでございます。

○教育長 指導室長。

○指導室長 そのほかでございますけれども、この 3 連休中、葛飾教育の日、本来であれば前の週に実施だったのですけれども、学校事情により動かした学校が 2 校ございました。柴又小学校と飯塚小学校でございましたけれども、これにつきまして葛飾教育の日は中止にいたしま

した。

そして、運動会を予定していた学校があります。東水元小学校につきましては16日の水曜日に延期をして実施をするという形にしております。水元幼稚園も日曜日に運動会の予定が入っていましたが、これにつきましては17日の木曜日に延期という形にいたしました。

そして、科学教育センターで小学校科学教室を土曜日の午前・午後に行う予定だったのですが、事前に中止ということでご案内を差し上げたところでございます。

周年行事もよつぎ小学校で予定をされておりまして、11月2日土曜に延期したと伺っているところでございます。

日光移動教室でございますけれども、きょうから最後の組ということで道上小学校と南綾瀬小学校が行きます。現段階で戦場ヶ原が歩けないということで連絡もいただいているところで、安全第一で行程等を見直していただき実施するように指導をしたところでございます。

なお、今回の3連休中に移動教室であるとか修学旅行等を実施する学校はない状態です。中学校の部活動等についても、12日の土曜日は中止、13日日曜日の午前中は中止ということで、一斉の対応をさせていただいたところでございます。

以上です。

**○教育長 望月委員。**

**○望月委員** 先ほど台風のお話が出ましたが、私も12日、13日とほぼ避難所運営に関わっていますので、夜、少し寝に帰ったぐらいでお手伝いをしたのですが、そのことに関して、各避難所には区の職員が3名から4名いるのですね。その方たちは本当に早くから来て、いろいろとやっていたのですけれども、たまたまやっているところの学校の職員、校長先生、副校長先生を初め、職員が1人もいらっしやらなかったのです。それで、その連絡の指示のやり方が全部携帯電話などを通して区とつないでいたのですね。そこにいる避難所のスタッフたちは全て何をしたらいいかとかやっていて、あとはそこにいた区の職員と相談しながらやってはいたのですけれども、その学校は、体育館が3階なのです。3階から随時、避難の方をあげて、夕方前の警報が出た時点でかなり避難者が増えたのです。そうになりましたときに、学校の3階は埋まったけど、教室を使っていいかどうかという連絡をとって、こちらとの連絡ではいいですよという話になったのですけれども、その部分が校長先生に伝わってなかったのか、私たちのスタッフの中のPTAにかかわっている人などが連絡して、教室ということにしたらすごく叱られたと言うのです。

そういうのがあって、学校を通してでも、行政のスタッフの方たちは大変な思いをしてこちらと連絡をとっているのですけれども、あの状況で、申し訳ないけれども、いちいちそれやっていたのならば、誘導したり何かすることも、高齢者が多くて、その方たちを1人ずつ荷物を持って上がったり。この高齢の私ですら、次の日、筋肉痛になりましたから。それぐらい大

変な思いをした。でもその中で、いろいろなことがあって、若い中学生だとか、中学校を卒業して高校生、成人になった方でも、そこに関係ある方たちが重い物を運んでくれたり、お手伝いをしてくれたのですね。

だから、いいこともあり、悪いこともあったのですけれども、そういう中で、ああいう危機管理。今までは避難所管理運営で1泊体験等も私たちは経験はしているのですけれども、それとは違って、あれだけの人数が来たときの管理というのですか、そういうのは葛飾区はもう少し今回の経験を生かして欲しいと思いました。

それと同時に、学校は職員室ですら本当に貴重な物がありますよね。そういうものを誰も来ないで動かさなくいいのかなという意見もあったので、これも聞いてみたいなと思いました。

それから、危機管理に関して、近くに住んでいる先生方もいると思うのです。でも1人も顔を出してくれなかったというのはすごくさびしいことであって、お手伝いに来た方が皆さんそれを不満に思って、誰かに言いたいと思っているのですね。今日の朝も連絡が入って、「それってどこに言ったらいいの。望月さん、教育委員やっているのだから、それ言ってくれたら」と。とりあえず、今日教育委員会の定例会があるので、私自身も、私の周りにいた人たちもみんなその思いがあったので、当日お手伝いしたスタッフの方たちの意見も取り上げて聞いていただいて、葛飾区全部でもこういう問題はたぶん出ていると思うのです。それを地域防災課と危機管理課に。どういうふうにとというのはこちらは全然分からないのです。うちに来てくれたスタッフの方が電話で全部やっているものですから。

たまたまその学校は雨が一番強かったときに、窓ガラスのこういう鉄枠があるのですね、吹きかけた水がそこから漏れたのです。それで皆さんが寝ているときに、マットを敷いて、毛布を被っていたところで、頭の方から、カーテンが濡れてきているというのがあって、急いで駆けつけて寝ている方たちに少し廊下側に移動していただいて、その後はそれほど長い時間ではなかったからよかったですけれども、学校は子どもたちの道具などは窓のところに置いてあるじゃないですか。それだって動かしていいかわからないのです。けれども濡れてしまうのであればやっぱりといって、そこにいた方が必然的に自分たちの判断で少しずらしたり、教壇に置いたりしてくださったのですね。でも、それも後になって、何で動かしたのだと言われてたら、やってくれた人たち、まだこれはないですけれども、そういうのも含めて、いちいちこんな大変なときの指示を、そこにいる区から派遣されているスタッフはちゃんと連絡は入れているのです。私たちもどうしたらいいですかとその方に聞いて、区から来ている方たちのトップの方に言って、連絡とってやってくれていますから、それでOKとってやっているのですけれども、それを言われてしまうと、「これってちょっとおかしいな」と思っていますので、お願いしたいと思います。

あともう一つ、エアコンの問題もあるのです。あのときは窓を全部閉め切って、すごく蒸し



暑かったのです。ですから、3階から全教室を開放しました。そのときに、2クラスだけ使ってなかったのですけれども、ほかのクラスは、こちらも指示はしていなかったので、使っちゃだめですよとは言わなかったし、使ってくださいとも言わなかったのです。でも、その中で、「ちょっと待って、これだけ暑いから」と気がついたのは大分遅い時間で、回ったときには、2クラスぐらいを除いて、ほかはみんなつけてくださったのです。

そういうのも含めて、使っているのか、使っていないのかというの、学校はどういうふうな指示をして、そこに1人でも教職員がいたのなら、その方の判断でよかったのかなと思うのが、すごく今、関わった方たちが思っていることです。

それで、ご苦労さまではなく怒られたというのを私も聞いたので、「それは違うよね」と皆さん思っていますので、よその学校でも来てない学校が多分あると思うのですけれども、その部分を教育委員会と危機管理課、それから地域防災課との連携で聞いていただければと思います。

**○教育長** 実態に即したお話をいろいろいただいている、今、教育委員会でお答えできる部分と調整しないと答えられない部分があると思いますけれども、教育委員会でのところでお答えできる部分があれば、ご説明をお願いしたいと思います。

学校教育担当部長。

**○学校教育担当部長** 望月委員から熱いご意見をいただきました。そちらについては、望月委員ほどではございませんけれども、かなり詳しい情報が入っております。今、望月委員が熱く語らなくてはならないような状況があったことは、私、把握しているつもりでございます。

今、ご意見をいただきました連絡体制ですとか配置等々の様々な問題ですけれども、実際、学校にいた職員からも問題点について上げてもらっていますし、それから校長とも打合せをして今後、進めてまいります。また、本部にいた職員からも意見をきちっと危機管理課に上げていって調整していきたいと思っております。今後、そのようなことがないように徐々に改善していきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

**○望月委員** よろしく申し上げます。

**○教育長** 塚本委員。

**○塚本委員** 関連でございます。今の部長のお答えで集約されて十分理解できます。

非常に貴重な体験を望月委員のところもなされたわけですけれども、特に直近で気になりましたのは、東日本のときの大川小学校の責務が最高裁で出ましたですね。となりますと、学校長の先生方は、危機管理マニュアルは机上のものではなくて、先ほど委員もおっしゃったように常に訓練をすること、そういったものをこの機会に周知徹底をしていかないと、どこかで集約をされてしまうのがこの世の中の常ですから、部長が明確に答弁いただいたので、今後それに沿ってよろしくお願いいたします。

以上です。

○教育長 ほかにこれに関連してご意見はございますでしょうか。よろしいですか。

今回につきましては、学校休業中の事態だったわけですが、これが学校の授業等を行っている時間に地域の皆さんが避難しなければいけないというような状況が重なるということも、いろいろと今後想定されてまいりますので、今回のことも教訓にしながら今後のことについては区全体でも調整していくべきことかと考えております。

それでは、台風関連につきましてはよろしゅうございましょうか。

そのほかで何かございますでしょうか。よろしいですか。

それでは、令和元年教育委員会第10回の定例会は以上をもって閉会といたします。ありがとうございました。

閉会時刻 10時54分